

令和5年9月加賀市議会定例会

令和5年9月議会における所信(市長提出議案説明より抜粋)

令和5年8月30日

令和5年9月加賀市議会定例会の開会に当たりまして、市政に対する所信の一端と、提案しております議案の概要について申し上げます。

はじめに、中京圏からの誘客強化を図るため、中京圏の旅行会社に対するトップセールスについて申し上げます。

首都圏や京阪神には、これまでも実施してまいりましたが、中京圏は今回が初めてであります。

明日、8月31日、私自身が先頭に立ち、秋から冬の誘客促進に向けた販促強化、来春の北陸新幹線加賀温泉駅開業のアピールをしっかりと行ってまいります。

また、国際交流、インバウンド観光の推進につきましては、国の入国規制が緩和され、海外との交流が活発になる中、その取り組みを強化してまいりたいと考えております。

今般、10月2日から7日にかけて、議員の皆様とともに台湾の関係各所を訪問し、改めて本市との交流促進、誘客強化に向けた働きかけを行いたいと考えております。

また、高雄市立大同病院と加賀市医療センターとの国際連携協力覚書(MOU)を締結し、人事交流等を進めることで、市民の医療・健康分野に好影響をもたらす取り組みの検討や、医療ツーリズムの開始に向けた取り組みを進めてまいります。

また、本市の国際的な知名度を高め、効果的に外国人旅行者の誘客を図るため、「ミス・インターナショナル世界大会」の出場者をお招きし、10月19日から20日にかけて、市民との交流や温泉地の散策等、様々な体験をしていただきたいと思いますと考えております。

そして、2日間の滞在中に感じた本市の魅力を、SNSなどで世界に向けて積極的に発信していただきたいと思いますと考えております。

次に、北陸新幹線加賀温泉駅開業記念イベントについて申し上げます。

11月上旬から中旬にかけて、「官民一体・市民総参加」をコンセプトに、イベントを開催いたしたいと考えております。

食を中心とした青空市や多くの市民の方に参加していただく提灯行列など、様々なイベントを企画しております。

北陸新幹線加賀温泉駅開業に向けて、市全体の機運醸成と市内外への情報発信の強化を図ってまいります。

また、市民の皆様や市内の各種団体とも協働し、官民連携体制で進めてまいります。

これらの観光関連の一連の事業費につきましては、所要の予算を今議会において提案いたしております。

次に、加賀ロボレーブ国際大会2023について申し上げます。

小学4年生から高校生までが、ロボットのプログラミング技術を競うこの大会を、11月3日から5日まで、3日間の日程で、加賀市スポーツセンターを会場として開催いたします。

令和2年度から昨年度までの3年間は、新型コロナウイルスの世界的感染拡大のため、参加選手を国内に限定しておりました。

本年度は、海外からの参加も見込んでおり、より盛り上がった大会となることを期待しております。

また、大会を通じて、科学とモノづくりへの興味、関心が高まり、想像力や柔軟な思考力が育まれることを強く望んでおります。

次に、加賀温泉郷寛平ナイトマラソン2023について申し上げます。

本大会は、間寛平氏がプロデュースする大会で、来る9月2日土曜日に、約1,000名の参加のもと、山中温泉の大自然を舞台に、4年ぶりに開催するものであります。

吉本興業のお笑いライブ、加賀の食の飲食ブースなど、出走する方ばかりでなく、応援の方も楽しめる、他にはない大変ユニークな大会となっております。

市民の皆様へのスポーツへの関心がさらに高まるとともに、観光誘客にも大いに寄与するものと期待しております。

次に、THU JAPAN2023について申し上げます。

世界中のクリエイターが、組織・世代・国境を越えて集い、交流を通じて新たなアイデアが生まれる、世界的イベントであるTHUを、THU発祥の地であるポルトガル共和国から、駐日ポルトガル共和国大使 ヴィットル・パウロ・ダ・コスタ・セレーノ閣下をお招きし、9月20日から23日までの4日間開催いたします。

本イベントには、国内外から約300人のデジタルクリエイターが参加されます。

映画「ミニオンズ」監督のカイル・バルダ氏等、国内外の多彩なクリエイターをお招きし、講演や参加者同士が意見を交わすワークショップが行われます。

イベント終了翌日の9月24日には、日帰りのオプションツアーを用意し、本市の街並みや豊かな自然、伝統文化に触れていただくことを予定しております。

このイベントを通じ、本市が世界のクリエイターが集う拠点、いわゆる「クリエイターハブ」になり、市の産業・経済・文化の活性化や新たな産業・サービスの創出に繋げてまいりたいと考えております。

次に、山中温泉ゆけむり健康村について申し上げます。

ゆけむり健康村の施設活用につきましては、交渉権者の「株式会社リナシェンテ」と協議を重ねてまいりました。

同社からは、施設の老朽化が著しいことや、管理経費等の問題から、既存施設の活用を見直し、温浴施設、健康施設、道の駅舎等で構成するコンパクトな施設に改築する方向で、今般、再生企画提案書の提出があったところであります。

その提案内容は、従来型の健康に留まらず、快適な滞在経験、心豊かで多様な幸福感を享受できる、ランドスケープリゾートをコンセプトとしたものであります。

提案に基づく概算事業費は約4億8,000万円で、核となる温浴施設等の第一期工事を来年8月に完成し、営業を行い、第二期及び第三期工事として、令和8年3月までにイベント棟や宿泊施設等の整備を目指す内容となっております。

今後、同社と、初期費用負担や施工区分等を中心とした協議を行い、市としての方針を決定いたしたいと考えております。